

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 27 年 9 月 24 日 (2015.9.24)

【公開番号】特開 2014-46575 (P2014-46575A)
 【公開日】平成 26 年 3 月 17 日 (2014.3.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-014
 【出願番号】特願 2012-191697 (P2012-191697)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 29/13 (2006.01)

B 6 5 H 1/26 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/12 A

B 6 5 H 1/26 3 3 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 8 月 11 日 (2015.8.11)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

トレイに搭載された記録媒体に記録可能な記録装置であって、
前記記録装置の本体に収納されている交換可能な記録部品と、
前記記録部品の下方に設けられ、挿入された前記トレイを搬送する搬送機構と、
開閉可能に支持されており、開けると前記記録部品が露出して交換可能となるカバーと
 、
開閉可能に支持されており、開けると前記トレイの挿入口が現れるトレイベースと、
前記カバーが閉じた状態で前記トレイベースを開けると前記搬送機構が上昇し、次いで
前記カバーを開けると前記搬送機構が下降するように動かす機構と
 を有することを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記カバーは前記本体に対して回転可能に支持され、前記トレイベースは前記カバーに
対して回転可能に支持されており、
前記機構は、前記トレイベースを開けるのに連動して前記搬送機構に近づく方向に移動
し、次いで、前記カバーを開けるのに連動して前記搬送機構から離れる方向に移動するリ
リース部材を有し、
前記リリース部材が前記搬送機構に近づく方向に移動すると、前記リリース部材の一部
が前記搬送機構を下から持ち上げ、
前記リリース部材が前記搬送機構から離れる方向に移動すると、前記リリース部材の一
部が前記搬送機構の下から逃げて前記搬送機構が下降することを特徴とする、請求項 1 に
記載の記録装置。

【請求項 3】

前記搬送機構に対向するブラテンをさらに有し、
前記リリース部材の一部は、前記搬送機構と前記ブラテンとの間に形成された隙間に入り
込んで前記搬送機構を持ち上げることを特徴とする、請求項 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

前記カバーの回転軸が、前記トレイベースの回転軸よりも下方に配置され、且つ、前記

カバーの前記回転軸と前記トレイベースの前記回転軸の間で前記リリース部材が前記トレイベースに連結されていることを特徴とする、請求項 2 または 3 に記載の記録装置。

【請求項 5】

前記カバーには、複数の面で囲まれた凹部が形成され、

前記トレイベースを閉じた状態では前記トレイベースは前記凹部に収納され、前記トレイベースを開けると前記トレイベースは前記凹部から突出して、次いで、前記カバーを開けると前記トレイベースは再び前記凹部に収納されることを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 6】

前記搬送機構の上昇に伴って前記記録部品を保持するキャリッジを上昇させ、前記搬送機構の下降に伴って前記キャリッジを下降させる手段をさらに有することを特徴とする、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 7】

前記記録部品は、インクタンクまたは記録ヘッドであることを特徴とする、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

上記目的を達成するために本発明の記録装置は、トレイに搭載された記録媒体に記録可能な記録装置であって、前記記録装置の本体に収納されている交換可能な記録部品と、前記記録部品の下方に設けられ、挿入された前記トレイを搬送する搬送機構と、開閉可能に支持されており、開けると前記記録部品が露出して交換可能となるカバーと、開閉可能に支持されており、開けると前記トレイの挿入口が現れるトレイベースと、前記カバーが閉じた状態で前記トレイベースを開けると前記搬送機構が上昇し、次いで前記カバーを開けると前記搬送機構が下降するように動かす機構と、を有する。